

(2007年3月25日 近柔杯全国中学柔道大会)

ルネッサンススピーチ

朝飛 大

皆さんおはようございます。ただ今ご紹介いただきました朝飛です。

試合前で緊張している時だと思いますが、少しお時間をいただき、お話をさせていただきます。

今、世界のスポーツで競技人口が多いのはサッカーです。そして2番目に多いのが「柔道」なのです。

現在、国際柔道連盟に加盟している国は195カ国以上になっています。なぜ柔道が多くの人々に愛されているのかと考えると、柔道の持つ「精力善用」「自他共栄」の精神が世界中の人に共感を受けたからなのです。この柔道をさらに発展させていくのは、今日試合に出場する皆さんです。この中から世界大会に出場する選手がたくさん出てきます。その時に「日本の選手は、礼、挨拶がしっかりしている。試合態度、マナーがしっかりしている」ということになれば、日本柔道はまだまだ発展していくと思います。そして、サッカーを抜いて競技人口トップになってくれるのを楽しみにしています。

次に、皆さんは、今日の試合のために一生懸命練習をし、トレーニングをしてきたと思います。その練習、トレーニングには色々な人の協力があったと思います。試合に出れなくても、打ち込みや投げ込みを受けてくれた友達、朝トレの時、暗いうちから起きて食事を作ってくれたお母さん、休みの日を返上してまでも指導していただく先生、その方々の協力で試合をすることができるのです。

皆さんが戦っている時も同じように緊張して、同じように声を出して戦ってくれています。この人たちが為にも、一生懸命試合をして下さい。そして、試合に勝っても負けても大きな声で礼をして、先生や友達、お父さんお母さんに「ありがとうございました」と言える柔道家になって下さい。これが嘉納師範の「自他共栄」という大きな教えにつながるのではないのでしょうか。

今日は、大切な時間にも関わらず、お話をお聞きいただき有難うございました。

